

北極環境研究コンソーシアムの活動紹介

兒玉裕二¹、榎本浩之¹、大畑哲夫²
¹ 国立極地研究所 ² 海洋研究開発機構

Introduction of Japan Consortium for Arctic Environmental Research's Activity

Yuji Kodama¹, Hiroyuki Enomoto¹ and Tetsuo Ohata²

¹National Institute of Polar Research, ²Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology

The Japan Consortium for Arctic Environmental Research was established as a supporting activity of GRENE Arctic project by 300 Arctic researchers and related personnel in Japan in May, 2011. The steering committee was formed by 24 researchers and the secretariat was placed in the Arctic Environmental Research Center in the National Institute of Polar Research. The JCAR's activities are as follows: 1) Planning and suggestion of arctic environmental research and its necessary infrastructure, 2) To promote discussion of research results by holding an international symposium and enhance public relations, 3) To discuss and promote international affairs, 4) To promote integration of observed data and its use, 5) To consider and foster early career development, 6) To consider and respond to international organization's activities. The details of these activities will be introduced in the presentation.

北極環境研究コンソーシアム（JCAR）は、北極研究戦略小委員会が策定した GRENE 事業北極気候変動分野運用基本方針（H23. 4. 19）を受けて、2011 年 5 月に設立趣意書に賛同した有志によって結成され、活動を続けている。その活動内容について紹介する。

日本における北極研究は、国立極地研究所をはじめ、各大学や国立研究機関が行っていたが、それらは個々に行われており、必ずしも日本として統一のとれたものと言えなかった。そういう中で、北極域の予想を超えた気候変動が観測されるに至って注目されるようになり、GRENE 事業の中に北極における気候変動研究プロジェクトが採択された。この GRENE 北極プロジェクトは研究課題として 4 つの戦略課題を設けてプロジェクトが動き出すとともに、北極環境研究コミュニティの連携を深めるために JCAR をサポートしている。JCAR は国立極地研究所の北極観測センターの中に事務局を置き、JCAR 運営委員会を設けて活動を行っている。JCAR は北極環境研究者間の連携を深めながら、①将来的な北極環境研究課題・研究基盤の活用に関する検討および提言、②国際シンポジウムの開催など研究成果の議論の推進および広報、③国際協力の在り方などの検討および推進、④観測データの統合および相互利用も検討、⑤人材育成などの検討および推進、⑥ IASC などの国際的な枠組みへの参画等に関する検討および対応、などの活動を行っている。発表ではこれらを詳しく紹介する。

